

令和7年度シラバス（国語）

学番 中等1 新潟県立村上中等教育学校

教科(科目)	国語（古典探究）	単位数	3単位	学年（系）	5学年（理系文系共通）
使用教科書	第一学習社「高等学校 古典探究 古文編」「高等学校 古典探究 漢文編」				
副教材等	・第一学習社「古典探究 古文編 学習課題集」・第一学習社「古典探究 漢文編 学習課題集」 ・尚文出版「入試対策ベストセクション古文単語325」・第一学習社「完全マスター古典文法」 ・数研出版「体系漢文」・尚文出版「共通テスト対策国語完答32」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

本校においては大学等に進学を希望する生徒が大多数であることを踏まえ、古文・漢文の語彙や文法事項・句法を身につけさせ、内容理解の力を養い、古典作品を通して、先人のものの見方や考え方を読み取る力を育てます。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

5 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、ことばが持つ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時数	評価方法
4	古文編 説話 (一)	読む 4時間	今物語 やさし蔵人	著名な和歌を踏まえた話を読み、「やさし蔵人」の逸話を通して語り伝えようとしたことを読み解く。	4	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
	古文編 随筆 (一)	読む 4時間	徒然草 あだし野の露消 ゆるときなく	文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。	4	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
5	古文編	読む 3時間	方丈記 安元の大火	文語のきまりに注意しながら、登場人物の言動と和歌の内容を読み取る。	3	ワークシート (記述の点検)
	漢文編 故事・寓話	読む 4時間	嬰逆鱗 知音	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。	4	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
	漢文編 古代の史話	読む 4時間	十八史略 鼓腹撃壤	・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、古代中国の理想的政治の在り方について理解を深める。 ・史伝という文章の種類とその特徴について理解を深める。	4	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
			定期考査		1	

	6	古文編 物語（一）	読む 3時間	大和物語 姨捨	・和歌の詠まれた事情を語る、散文性や叙事性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。	3	ワークシート (記述の点検)
		古文編 日記（一）	読む 4時間	蜻蛉日記 うつろひたる菊	・女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心理描写に触れる。	8	ワークシート (記述の確認) 発表の様子 (行動の確認)
			読む 4時間	和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中	・自信の経験を三人称的視点で捉えた日記の特徴を理解しつつ、物語ふうに語られる恋の情緒を追体験する。		
	7	漢文編 名家の文章	読む 5時間	黔之驢 売油翁	・動物に託して描いた、作者の社会に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・技術の習熟について述べた文章を、引用された話を参考にして読み、ものの見方や考え方を深める。	5	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
	9	漢文編 項羽と劉邦	読む 8時間	史記 鴻門之会 四面楚歌	・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ・追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。	8	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
				定期考查		1	
	9 10	古文編 物語（二）	読む 9時間	源氏物語 光る君誕生 若紫	・歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。 ・主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。	9	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
		古文編 物語（二）	読む 9時間	大鏡 弓争ひ 道長の豪胆	・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。	9	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
	11	漢文編 漢詩の鑑賞	読む 5時間	中国の詩 日本の詩 6編	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・日本の各時代に詠まれた漢詩を鑑賞し、作者が漢詩に託した自然や人事に対する思いを通して考えを深める。	5	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
				定期考查		1	

	12	漢文編 不思議な世界	読む 7時間	売鬼 酒虫	・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超自然的な存在に対する見方に触れる。 ・人に何らかの影響を及ぼす「虫」という考え方に触れ、劉氏にとっての酒虫の意味について考える。	7	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
		古文編 和歌・俳諧	読む 6時間	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 春夏秋冬 8編	・わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、黎明期・発展期・成熟期の和歌を鑑賞する。 ・和歌の伝統を踏まえて成立した近世の俳諧の特色を理解し、時代を追って作品を鑑賞する。	6	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
	1 2	古文編 日記(二)	読む 4時間	紫式部日記 日本紀の御局	・『源氏物語』の作者が時の帝の後宮に仕えていたときの日記を読み、その内面に抱いていた思いに触れる。 作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。	26	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
		作り物語	読む 9時間	更級日記 門出 源氏の五十余巻	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。		
		漢文編 諸家の思想	読む 6時間	孟子 老子 莊子 韓非子 6編	・『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解する。 ・儒家と対立する『老子』『莊子』『韓非子』を読み、古代中国思想について理解する。		
		古文編 物語(三)	読む 7時間	平家物語 忠度の都落ち 能登殿の最期	・軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 ・軍記物語という文章の種類や和漢混淆文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。		
				定期考査		1	
	3	共通試験対策	読む 5時間		・総合的な読解演習を行う。	5	共通試験問題集

計110時間(48分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「読むこと」 110時間
-----------------	------------------

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

7 課題・提出物等

- ・ 読解や意見文などの課題の提出があります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。(指定図書の読書レポートなど)

8 担当者からの一言

「古典探究」は、1、2年時に学んだ古文、漢文の知識を用いて読解力を伸ばすとともに、見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにしてほしいと思います。また、豊富な教材を扱いますので、文法、句法、表現等の知識の定着を図りながら、難解な文章についても読み解く応用力を養っていきましょう。

(担当： 齋藤 丈、田村 初美)